

## 狹隘道路プロジェクトチームの活動

去る6月19日、全調政連・狹隘道路PT（早川正敏委員長）は、制度制定70周年記念シンポジウムにおける狹隘道路整備に関するパネルディスカッションについて、参議院議員・豊田俊郎事務所において打ち合わせを行った。

その結果、パネルディスカッション方式を変更し、4名の意見発表により狹隘道路整備促進の必要性を訴えてゆくこととなった。

持ち時間55分のパネルディスカッションでは十分な効果を発揮できないと判断したからである。

打ち合わせには豊田俊郎参議院議員のほか、急遽国交省から狹隘道路を担当する住宅局・市街地建築課長石坂聡様にご出席いただいた。

石坂課長にはシンポジウムの趣旨を説明し、ご理解をいただき当日ご出席いただける見通しとなった。

4名の意見発表者は、豊田参議院議員、国交省・石坂課長、先進取り組み行政庁代表、土地家屋調査士・静岡会米沢名誉会長とすることで合意された。

意見発表においては、緊急車両や介護車両の進入を妨げ、火災の延焼拡大を招き、国民の生命・財産を脅かす狹隘道路解消の必要性を訴え、解消には新たな法整備が必要である旨の提言が為される予定である。

本件打ち合わせには、シンポジウム第2部進行係予定の上田副幹事長も出席し、全体の流れの把握に努めた。

次回打ち合わせにおいては更に詳細を協議、検討し、シンポジウムを成功に導くことを一同確認した。

（文責、全調政連会長・椎名勤）

打ち合わせ会議出席者

参議院議員・豊田俊郎

国土交通省住宅局・市街地建築課長 石坂聡

狭隘道路プロジェクト委員長

委員 静岡県調政連会長

委員 静岡県土地家屋調査士会名誉会長

全調政連会長

同副幹事長

・早川正敏

・栗田隆司

・米沢 實

・椎名 勤

・上田尚彦

写真左から栗田委員、椎名会長、豊田参議院議員、早川委員長、米沢委員

